

潟上市の防災備蓄について

1. 防災備蓄について

大災害や台風などが発生した場合に備え、市では飲料水や非常食などを市内5か所に備蓄しています。

2. 潟上市内の備蓄場所

- (1) 潟上市役所 (2) 天王コミュニティ防災センター (3) 飯田川出張所
(4) 防災備蓄倉庫(トレイクかたがみ) (5) 東湖小学校



3. 備蓄品目について

秋田県及び潟上市は、災害発生直後の生命の維持と生活の安定に欠かすことのない19品目を共同備蓄品目と定め、それぞれ必要な品目を備蓄するよう努めており主な備蓄品目は次のとおりであります。

◎食料品

- カンパン ■サバイバルパン ■アルファ化おかゆ ■アルファ化米 ■飲料水 ■粉ミルク
■液体用ミルク ■哺乳瓶

◎資機材等

- 石油ストーブ ■発電機 ■パルーン型投光機 ■三脚型投光機 ■LEDパイプライト
- コードリール ■燃料タンク ■給水タンク ■防災シート ■担架

◎トイレ

- マンホール対応型トイレ ■トイレットペーパー

◎生活必需品等

- 毛布 ■災害備蓄用カーペット ■大人用おむつ ■子供用おむつ ■生理用品 ■タオルケット
- 肌着圧縮セット ■レインポンチョ ■サバイバルブランケット ■医薬品セット
- 避難21点セット※避難セット…懐中電灯やローソク、軍手など多くの家庭で常備されている、避難時のセット

4. 流通備蓄について

流通備蓄とは、物資を市場で流通する形で備蓄する方式のことです。市では、市内外の店舗や飲料メーカー、県外の市役所（岩手県雫石町、盛岡市、滝沢市、宮古市など）から食料品や生活用品を送ってもらう協定を結んでいます。

5. 防災備蓄をする時のポイント

①最低3日間程度を目安に水や食料を備蓄しましょう

～特別なものを用意するのではなく、できるだけ普段の生活の中で利用する食品を備えましょう～

②家族構成にあわせて必要なものを考え、備蓄品を準備しましょう

③毎年1回、備蓄品の消費期限を確認し、期限が切れないうれ入れ替えましょう

④持ち出す備蓄品はすぐに取り出せる場所やリュックサックなどに入れておきましょう

6. 最後に

災害はいつ発生するか分かりません。備蓄品については、自助・共助・公助の考え方を基本に、災害時に必要となる物資を家庭で3日分備蓄するよう日頃から備えておくことが大切です。

また、家族の中でも「防災」について普段から話し合いましょう

☆非常持ち出し品の備えと置き場所について

☆家の中で一番安全な場所と危険な箇所はどこか

☆早めの避難を心がけること。「避難場所」「避難ルート」はどこにあるか確認する

